

第1回臂曲岩石採取事業監理委員会の概要

日 時 平成23年4月14日 10:05～11:15

場 所 遊佐町役場 議事所

出席委員 地元集落等委員：9人、川越工業：5人、山形県：5人、遊佐町：4人
計23人 傍聴者：なし 報道機関：6社

主な協議内容

(1) 臂曲岩石採取事業監理委員会の設置要綱、委員の確認

(2) 岩石採取事業の業務計画の説明

川越工業：大雪・震災の影響で4月12日に道路の除雪に着手した。幹線水路の設置、沈砂池の設置を4月20日頃まで、その後上部から掘削を開始する予定。搬出路確保のための樹木伐採を最初にとりかかるが、必要最小限の範囲でおこなう。業務時間を早める場合は、この委員会に諮っていきたい。

(質疑事項)

委員：操業時間の予定は。

川越工業：午前7時から午後5時を予定している。

委員：掘削や搬出の開始時期はいつか。

川越工業：4月20日以降を予定しているが、本格的な掘削は5月6日からと考えている。

委員：運搬ルートについて、上りは袋地～中村の町道、下りは県道経由がいいのではと思うが。

川越工業：今のところ、申請どおり上り下りとも町道利用を予定している。臂曲地内は、上りが神社前、下りが公民館前を予定している。ルートの変更について(県の)指導があれば対応する。

川越工業：問題があればこの委員会で協議する。搬出ルートにある集落に事前通知を行う。

委員：①今年度の掘削について認可エリアのどの程度の見込みか。②震災もあった中で法面勾配を危惧している。勾配をゆるくするなどの計画変更は考えていないか。③植栽は今年度するのか。

川越工業：申請内容を確認いただきたい。法面勾配の変更予定はない。

委員：1日あたりのダンプの運行台数は何台か。

川越工業：申請した計画のとおり。

遊佐町：申請書の写しは配布していないので、きちんと回答いただきたい。

川越工業：最大18台で運行する。酒田港及び酒田管内への搬出であり、1日6～7往復を予定、延べの通行台数で120台程度と考えている。

(3) 遊佐町が実施している地下水脈調査の状況説明

(質疑事項)

委員：湧水の水量はどのように把握しようとしているのか。

遊佐町：横堰に水位計を設置し観測している。横堰は湧水の流れ込みやオーバーフローが多いため正確な水量計測は困難だが、水収支をはかるためにデータをとっている。しかし、研究機関への委託はしていない。

(4) その他

次回監理委員会は、夏頃に採石場の現場確認を行うこととする。

(意見交換)

委員：双方議論の場であるので、「計画どおり」の言葉を聞くとがっかりする。昨年大雨では土砂が流出している、そうしたことの対応を随時やっていくことが重要と思う。柔軟に対応していく姿勢を示していただきたい。

川越工業：沈砂池や道路側溝の整備が終わってから採石を始める。それ以外のことは、日々の作業もみていただいて、この委員会で議論して対応していきたい。

委員長：事業を進めていく上で、さまざまな環境の変化があると思うので、その都度発生した問題の対処をこの委員会でおこなっていくことをご理解いただきたい。自然相手の事業なので、大雨なども考えられる。柔軟に対応させていただきたいと思う。

担当・問合せ

企画課企画係 ☎ 72-4523

